

「SGHアカデミックツアー」3/4~3/12（ボストン研修報告）

ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学（MIT）で研修を行いました

①ハーバード大学

3月7日（火）、ハーバード大学の学生であるインカさんと卒業生のアランさんにキャンパスツアーをしていただき、地下まで続く図書館や3つの嘘の像と言われているジョン・ハーバード像を見学しました。その後、学生と「乳幼児死亡率」というテーマで即興 discussion を行いました。修学旅行で実施した模擬国連の担当国について、現状や効果的な解決手段などの意見を出し合いました。また、各々の研究のプレゼンテーションも行い、私たちの研究を世界へと発信していくための第一歩となる、貴重な経験になりました。講評では、「これらの研究は高校生のレベルを越えている」とお褒めの言葉を頂きました。昼食にもお誘いいただき、メキシコ料理店で親交を深めました。



キャンパスツアーの様子



ジョン・ハーバード像



プレゼンテーションの様子

②MIT

MITでは、利根川ラボの山本純博士から講義を受け、実験を見学させていただきました。山本博士は、遺伝子改変マウスを用いて様々な神経回路を自由自在に制御し、そのメカニズムを解明する研究をされています。デモ実験では、脳の記憶学習に重要な部位である海馬に50本近く微小電極が下ろされた覚醒マウスを見学しました。山本博士は講義で、「日常生活のふとした時に疑問に思ったことを研究する中で、多くの失敗を経て成功が生まれる」とおっしゃっていました。「脳を活性化させるには生活のリズムが大切」というアドバイスを受験にも生かしたいです。これからご自身が研究してみたいこと（アルツハイマー症の研究等）についても話してください、世界最先端の脳科学研究のレベルの高さに刺激を受けました。博士の研究論文が掲載された、世界的に権威のある科学誌 *Ce11* をいただいて大変感激しました。



マサチューセッツ工科大学



高周波ガンマ波（脳波の一種）を観察

ハーバード大学やMITの充実した施設を見学し、高度な研究に触れたことは、私たちにとって得難い経験となりました。このボストンでの研修を経て、将来アメリカで学びたいという思いが強まりました。